

人から人へ
過去から未来へ

とこなめ



ごあいさつ

Welcome to Tokoname

常滑市長 片岡憲彦

Mayor of Tokoname City
Norihiro Kataoka



常滑市は、愛知県知多半島西岸の中央部に位置し、西側は伊勢湾に面しています。伊勢湾の海上埋立地に中部国際空港セントレアを有しており、海と空を身近に感じることができます。

本市は、先人の気概と鍛錬によって脈々と受け継がれてきた千年の歴史を持つ「焼き物のまち」です。日本六古窯の一つとされ、中でも常滑焼は、最も古く最大の規模であったと言われています。

また、中部国際空港対岸の中部臨空都市では企業誘致が進み、市街地では新たな住宅地の開発など、人口の増加とともに日々発展を遂げており、懐かしさと新しさが織り交ざったまち並みが魅力です。

今後も市民の皆さんと一緒に、空港と共生した「明るく元気なまち」「誇りをもてる日本一のまち」の実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。

本要覧は、本市の姿を分かりやすく表したものです。ぜひ本市の魅力を知っていただき、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



市章

City Emblem

昭和30年6月に制定

常滑市の「常」の字を、故杉本健吉氏が図案化したもので、市民の団結と市勢の発展が表されています。



市の木 クロマツ

Official City Tree : Japanese Black Pine

みどりを育て、みどりを守り、みどり豊かな住みよい都市づくりのために、昭和49年3月に市制20周年を記念して選定されました。



市の花 サザンカ

Official City Flower : Camellia Sasanqua

緑と花のある美しいまちづくりのために、アンケートの結果により昭和56年2月に選定されました。



トコタン

Tokotan (City Mascot)

市の公式キャラクター

愛くるしい表情と食いしん坊で気まぐれな性格が親しまれています。



目次

Table of Contents

ごあいさつ	2
目次	3
■ 常滑焼	4
■ 観光	7
■ 常滑の海	10
■ 中部国際空港セントレア	12
■ 中部臨空都市	14
■ 常滑の逸品、特産品	15
■ 山車まつり	16
■ 歳時記	18
■ 子育て	20
■ 福祉	22
■ 健康	23
■ まちづくり	24
■ 環境への取り組み	26
■ ボートレースとこなめ	27
■ 市民協働	28
■ 安全・安心	30
■ 学び	32
■ 文化・芸能・芸術	34
■ スポーツ	35
■ 名誉市民・文化財	36
■ 市議会・市役所	37
■ We Love Tokoname	38
■ 市民の皆さんから見たとこなめ	40
■ 常滑市のあゆみ	42
■ データで見る常滑市	44
■ アクセスマップ	46

常滑焼

Tokoname Ceramics

伝統を受け継ぎ、さらなる高み(飛躍)へ

From Within Tradition, We Leap to Further Heights



先人の気概と鍛錬によって
脈々と受け継がれてきた「日本
六古窯」の一つ、常滑焼。
職人の手と感覚から生み出さ
れる芸術品に、作り手の思いが
込められています。



常滑焼伝統工芸士
前川賢吾さん

Kengo Maekawa
Master of Tokoname's traditional
ceramic crafts

インタビュー

Interview

常滑焼は、装飾品ではなく、実用
向きなのが特徴。それに土独特の温
かみが魅力だね。

千年続く常滑焼の伝統を守りな
がら、大きな鉢や浴槽、水琴窟など
をつくる「大物ヨリコ造り」を得意と
して、「自分が同世代の代表だ」との
思いで約30年取り組んできた。

若手には、「ロクロ」や「手びねり」
などの常滑焼の基礎をしっかりと身
に付け、自分の色を出していったら
いいと思うなあ。

【市指定無形文化財保持者】



とこなめ陶の森研修生
堀田拓見さん

Takumi Hotta
Trainee at Tokoname's Forest
of Ceramics

インタビュー

Interview

家業を継ごうと思ったため、陶芸
の技術を学ぶことができる「とこな
め陶の森」の研修生になりました。

毎日いろいろな技術を学び、将来
の姿や作りたい作品について模索
している状態です。地元陶芸家の皆
さんの作品はどれも素晴らしいもの
で、刺激を受けながら勉強していま
す。自分ではオブジェを制作するよ
りも、急須などの実用的な器などを
作る方が得意かなと感じます。

卒業後は家業を手伝いながら、自
分の作品の幅を広げていこうと思っ
ています。

常滑焼のいろいろ

A variety of Tokoname ceramics

伝統の逸品から新たな用途まで、さまざまな場面で活躍する常滑焼を紹介します。



急須

Traditional Japanese Teapots

常滑焼ならではの朱泥のものから遊び心のあるものまでバリエーションが豊富です。常滑焼の急須の素晴らしさは、見た目の美しさはもちろん、お茶の切れの良さ。使い込むほどに手にしっくりとなじみます。



土管

Ceramic Pipes

撮影／村田紀男(陶磁器会館南)

明治時代に下水道を整備する際に活躍した常滑の土管。やきもの散歩道を中心に、配管として使われていた土管を、今も町のあちこちからで見ることができます。



焼酎瓶

Shochu (liquor) Bottles

壁に埋め込まれた常滑焼の焼酎瓶を見ることができますか？

現在は、焼酎サーバーとして商品化もされています。

実は常滑焼が発祥です

Tokoname Originals



茶香炉

Tea Incense Burner

お茶の葉を加熱することで発生する香りによって、心をリフレッシュさせるリラクゼーショングッズです。

光穴からもれる光は、部屋の明かりを消せば、視覚の癒し。ムードあるキャンドルライトとしても利用できます。

茶香炉の芳香は、部屋の消臭にも効果的です。



盤プロジェクト

The Ban Project

これまで急須作りに使われてきた常滑の土を「盤」という食材を彩るための新たな器をテーマに、常滑で活躍中の作家が中心となったプロジェクトです。



盤栽

コラム de とこなめ ① Tokoname's Column

「乾杯条例」ってなに？

Recommendations for making a toast in Tokoname

市では、平成25年9月に「常滑焼の器に注いだ地酒による乾杯を推進する条例」を制定しました。地酒と器をセットにした条例は全国初となり、注目を集めています。罰則はありません。楽しみながら一緒に常滑焼と地酒を盛り上げましょう！



啓発ポスター



常滑焼の器に地酒を注いで乾杯！

常滑焼

Tokoname Ceramics

常滑焼の急須ができるまで

The Process of Making a Tokoname tea pot



常滑焼伝統工芸士
伊藤 成二さん

By Seiji Ito
Master of Tokoname's traditional
ceramic crafts



① ロクロびき

Work on the potter's wheel

急須の胴はもちろん、ふたや注ぎ口、持ち手もロクロで作ります。ロクロびきは手だけでなく、いろいろな道具が工夫して使われます。「親指のつまみ」も道具として使います。



② 削り

Carving

適度に乾燥させた後、各部品を削ります。カミソリやセルロイドを使い、表面を滑らかにする作業も行われます。



④ ふた合わせ

Adjusting the Lid

削り工程の一種。胴とふたを合わせるための作業。ふたと胴がぴったりと合うように、少しずつ削っていきます。



③ 組み立て

Assembling the Parts

各部品をつなぎ合わせます。つなぎの部分に「のた」と呼ばれる泥状の土をつけてつなぎ合わせます。



⑤ 窯詰め

Loading the Kiln

約1100度の温度で約18時間かけて焼き上げます。



⑥ 焼成後のふた合わせ

Post Firing Lid Adjustments

少しの水と混合砂と呼ばれる研磨剤を使い、回転するふたと本体をすり合わせます。この作業は胴とふたがすきまなく、また滑らかに納まるまで行います。



⑦ 完成

The Finished Piece

とこなめ散歩 おすすめスポット

Recommended Spots for Walking Around Tokoname

千年の歴史を誇る常滑焼。「やきもの散歩道」を歩けば、レンガ煙突の街並みや土管坂、黒板塀のある懐かしい風景など、その歴史を肌で感じることができます。



とこなめ招き猫通り

The "Maneki Neko" (Beckoning Cat) street

陶磁器会館西の坂道「とこなめ招き猫通り」
常滑系巨大招き猫と陶芸家たちが制作した39体の招き猫が設置され、人気スポットになっています。

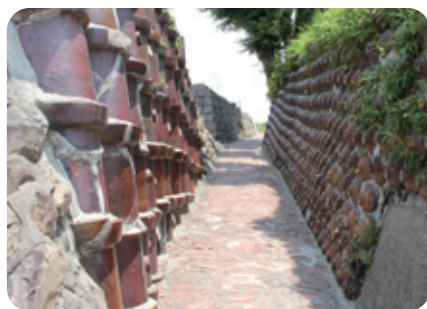


やきもの散歩道

The Pottery Footpath

中心市街地の小高い丘にある散歩道。1.6キロメートル(所要時間約60分)のAコースと4キロメートル(所要時間約2時間30分)のBコースがあり、両コースとも買い物を楽しめ、多くの観光客でにぎわっています。撮影スポットとしても人気です。迷路のような路地の散策をお楽しみください。

- 土管坂「ふるさとの坂道三十選」選定(平成2年)
- やきもの散歩道「美しい日本の歴史的風土100選」選定(平成19年)
- 「手づくり郷土(ふるさと)賞 大賞部門」選定(平成19年)



土管坂 Dokanzaka

廻船問屋瀧田家から南に10メートルほどの所にある、やきもの散歩道を代表する風景の一つです。

明治期の土管と昭和初期の焼酎瓶が左右の壁面をびっしりと覆い、坂道には「ケサワ」という土管の焼成時に使用した捨て輪の廃材を敷き詰め、滑らず歩きやすいように工夫されています。



陶芸体験 A ceramic art making experience

やきもの散歩道内の店舗では、常滑焼の購入はもちろん、実際に自分だけの器をつくる「陶芸体験」も行うことができます。ぜひ、お気に入りの器をつくってみてください。

登窯 The Climbing Kiln

登窯は、昭和49年まで実際に使用していました。

昭和54年には、「国の重要有形民俗文化財」に指定され、平成19年には、近代化産業遺産にも認定されています。



観 光

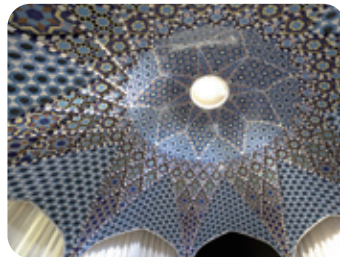
Sightseeing

INAXライブミュージアム(LIXILグループ)

INAX MUSEUMS



土・やきものの魅力を体験・体感できる博物館です。6つの館からなり、世界のタイルや、染付古便器、テラコッタなど焼き物製品の展示を楽しめます。「窯のある広場・資料館」は「登録有形文化財」に指定および「近代化産業遺産」に認定されています。



タイル絵付け、光るどろだんごづくりなどの体験教室のほか、土と焼き物に親しむワークショップも開催しています。

とこなめ焼卸団地(セラモール)

Ceramall



個性豊かな陶器専門店が集まったショッピングモールです。専門店ならではの豊富な品ぞろえと、安心できる品を焼き物産地価格で買えるのが魅力です。

季節ごとのイベントも多彩で、陶芸教室やギャラリーなどご家族で楽しめます。

かいせんどんや たき た け 廻船問屋瀧田家

The Takita Family Home, owners of small cargo vessels during Edo period.



江戸時代から明治時代にかけて廻船のまちであった常滑を代表する廻船問屋、瀧田家の住宅です。

1850年頃に建築された建物を復元・整備して公開しています。貴重な無尽灯(菜種油を用いた灯火具)や和船の模型、海運の歴史などを展示しています。

コラム ② とこなめ ② Tokoname's Column

合格祈願に“常に滑らない”お守りを

A lucky charm for success "that never slips"

やきもの散歩道にある「土管坂(どかんざか)」には、路面にすべりどめのための陶器の破片が埋め込まれており、独特の模様となっています。このお守りは、そのすべりどめにあやかって作りました。もちろん御祈禱済みです。どうか大事な場面で滑りませんように。



土管坂のすべりどめお守り

とこなめ陶の森

Tokoname's Forest of Ceramics



陶芸研究所

Ceramic Institute

著名な建築家、故堀口捨己氏により設計され、全国から建築ファンが訪れます。

昭和36年10月に建物が完成し、展示室には常滑市が収集してきた現代陶芸の名品を展示しています。

また、開設当時から陶芸家の育成に努め、これまでに約160人の研修生が巣立ち、中には世界的に活躍している陶芸家もいます。



資料館

Folk Museum

古くからの常滑焼の歴史を学ぶことができる施設です。展示室には、国指定の重要有形民俗文化財である「常滑の陶器の生産用具及び製品」1,655点のうち、生産用具や窯跡から出土した壺など約300点を展示しています。

とう ちょう

陶彫のある商店街

The Market street lined with ceramic sculptures



とこなめ中央商店街

Tokoname's Central Shopping District

全国的にも珍しい陶彫のある商店街

やきもの散歩道AコースとINAXライブミュージアムを結んだ通りにある「とこなめ中央商店街」。その路地には、市内の作家などから無償で提供された約150体の陶彫(粘土を直接成形し彫刻を施し焼成したもの)が設置され、ユーモラスな表情で親しまれています。

コラム de とこなめ ③ Tokoname's Column

陶と灯の日

The Day of Light and Ceramics

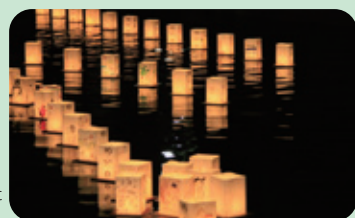
故伊奈長三郎氏は、伊奈製陶(株)(現(株)LIXIL)創業者で、初代常滑市長および常滑市名誉市民でもあり、常滑の陶業・陶芸の発展に多大な功績を残されました。

市では毎年、故伊奈長三郎氏の命日10月10日を「陶と灯の日」とし、先人の功績と偉業を再認識し、次世代に引き継いでいくイベントを開催しています。

当日は、市内各所でライトアップをしています。



点灯式



大落川に浮かべられた
紙製灯籠

常滑の海

Sea of Tokoname



撮影／加藤嘉信(りんくうビーチ)

常滑市は南北16キロの海岸線を有しています。

海水浴や潮干狩りなどのマリンレジャーや、おいしい海の幸、美しい風景など、さまざまな恵みを与えてくれる海。そんな海に私たちは感謝し、海を楽しむだけでなく、海をきれいに保ち、共存しています。

海水浴

Bathing at the Beach



大野海水浴場(大野るりが浜)

Ono Beach

平安末期の歌人、鴨長明が大野のことを詠んだ歌があることを根拠に、世界最古の海水浴場と言われています。名鉄大野町駅からも近く、家族連れに人気です。



りんくうビーチ

Rinku Beach

離発着する飛行機と雄大な海の風景、そしてロマンチックな夕景を眺望できる美しい砂浜。海岸線に沿った遊歩道ではジョギングや散策、バーベキューを楽しむことができます。



坂井海水浴場

Sakai Beach

潮干狩りと海水浴がセットで楽しめます。のんびりとした雰囲気を楽しみたい人におすすめです。

潮風を感じて

Feel the Sea Breeze

潮干狩り

Clamming



坂井海岸

Sakai beach

【4月上旬～8月上旬】

干潮時には約500メートルにわたり干潟ができる遠浅で穏やかな海。眼前に中部国際空港を望みながら、アサリなどを採ることができます。

釣り

Fishing



りんくう釣り護岸

Fishing at the Rinku Seawall

全長1キロメートルのりんくう釣り護岸のほか、大野海岸など市内の海岸には多くの釣り人が訪れます。また、空港島周辺での遊漁船による舟釣りも人気です。

ヨット

Yacht



鬼崎フィッシャリーナ

Onizaki Yacht Harbor

ヨットやクルーザーなどプレジャーボートの係留施設で、陸海合わせて約200隻が収容可能です。フィッシャリーナはフィッシュ(魚)とアリーナ(劇場)を組み合わせた造語です。

海の生物と共存

Co-exist with Marine Life

海浜植物

Seaside Plants



多屋海岸に群生するハマヒルガオ

Sea bells along the Taya beach

自然海岸の残る多屋海岸、蒲池海岸、熊野海岸などでは、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、コマツヨイグサ、ハマユウなどさまざまな海浜植物が群生しています。

ウミガメ

Sea Turtles



りんくうビーチに現れたアカウミガメ

(平成25年6月)

Loggerhead Turtles that appear at Rinku Beach

大野海岸、榎戸海岸、多屋海岸、りんくうビーチなどでは、アカウミガメが産卵にやってくる場合があります。ふ化した子ガメは、20年ほどたって成熟すると、再び産卵に戻ってくると言われています。

コラム de とこなめ ④

Tokoname's Column

あおみねさん

青峰山祭礼(青峰祭)

"Aominesan" Fisherman Festival

鬼崎漁港では毎年9月に松仙寺(蒲池町)で、豊漁と海の航行安全などを祈願する青峰山祭礼を行っています。

祈祷やもち投げのほか、漁船に色鮮やかな大漁旗が掲げられます。



中部国際空港セントレア

Centrair



世界に開かれた空の玄関口

Gateway Open to the World

〈写真提供:中部国際空港(株)〉

中部国際空港セントレアは、平成17年(2005年)に開港して以来、中部地域の空の玄関口としての機能だけでなく、観光スポットとしても多くの観光客が訪れています。平成24年8月には、来場者数が1億人を突破。格安航空会社の進出など、今後のさらなる発展が期待されています。

ホテルなどの宿泊施設を併設し、24時間空港としての機能はもちろん、ターミナル内には商業施設が充実しており、日本らしいお土産や和食・洋食・中華などの世界各国の料理を楽しむことができます。4階イベントプラザやセントレアホールでは毎週のようにイベントが開催され、飛行機を利用しない人でも楽しいひとときを過ごすことができます。



スカイタウン

Sky Town

飛行機を見ながら入ることができる展望風呂をはじめとした和のお店が連なる「ちょうちん横丁」と、カフェなどモダンな店が並ぶ「レンガ通り」が、人々の目を楽しませています。

全国各地の物産展や知多半島観光物産展も開催されます。



スカイデッキ

Sky Deck

滑走路に向かって伸びる全長約300メートルのスカイデッキは、離発着する飛行機を間近に見ることができるおすすめスポット。大迫力の飛行機を見に、多くの家族連れでにぎわっています。

また、夏には盆踊り、冬にはイルミネーションなど季節にあわせたイベントを楽しむことができます。

〈写真提供:中部国際空港(株)〉



撮影／村田紀男(本宮山)



〈写真提供:中部国際空港(株)〉

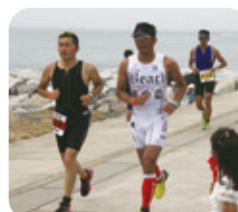
空弁(そらべん)

"Soraben" lunchbox for flight

飛行機の中で食べる弁当“空弁”
空港周辺地域の名産品などを食材として採用し、各空港ごとの独自色を強く打ち出した弁当です。セントレアでは、天むすやひつまぶしなどの空弁を購入することができます。ぜひ、ご賞味あれ。



スイム



ラン



バイク



アワードパーティー

アイアンマン70.3セントレア 知多・常滑ジャパン

Ironman 70.3 Centrair

市と空港の連携事業として平成22年から、国際的なトライアスロン大会「アイアンマン70.3セントレア常滑ジャパン」を開催しており、平成25年からは、コースに知多市を加えた「アイアンマン70.3セントレア知多・常滑ジャパン」を開催。大きな盛り上がりを見せています。

コラム de とこなめ ⑤

Tokaname's Column

空美ちゃんとは？

What is "Sorami Chan"?

カメラ片手に空港へ。そんな女性が増えています。その名も「空美(そらみ)ちゃん」。セントレアでは、飛行機好き女子限定の撮影イベントとして「セントレア空美女子会」を開いたところ、大人気。皆さんもカメラ片手に参加してみては？



セントレア空美女子会

〈写真提供:中部国際空港(株)〉

中部臨空都市

Chubu Rinku Area



〈写真提供:愛知県企業庁〉

空港島地域開発用地(約107ヘクタール)と空港対岸部地域開発用地(約123ヘクタール)からなる中部臨空都市は、愛知県が埋め立て、空港の支援機能と新しい先進的な都市拠点の実現を目標に造成されました。空港島では物流関連企業やホテルが操業しています。また、空港対岸部でも、結婚式場やホテル、飲食店、大型商業施設、高度先端企業などがオープンしています。



大型商業施設
Large-scale Commercial Facility



高度先端企業
Prominent Companies



ホテル
Hotels



結婚式場
Wedding Halls

常滑の逸品、特産品

Tokoname's Treasures and Specialties



金:金運招福



黒:厄除招福



赤:病除招福



さくら:恋愛招福



白:来福招福

新しい仲間が加わりました



まんすけねこ
萬助猫



黄:良縁招福



緑:合格招福



青:安全招福

常滑系招き猫

Tokoname's "Maneki Neko" (Beckoning Cat) lineage

愛嬌のある2頭身のフォルムに、大きな耳と大きな目の特徴の小判をかかえた招き猫。全国で生産される常滑系招き猫の約8割が常滑で作られています。右手をあげた招き猫はお金を招き、左手をあげた招き猫は人を招くと言われています。また、白色のほかに、緑色(合格招福)やさくら色(恋愛招福)など、ご利益によって色の付いた招き猫もあります。



ノリ

"Nori" (Laver seaweed)

常滑のノリは、厳寒の伊勢湾で生産されています。内海で自然条件にも恵まれており、品質の優れたノリを全国に送り出しています。色が濃く、つやがあり、風味の良いのが特徴で、全国的に高い評価を得ています。



イチジク

Figs

市の南部地域を中心に20ヘクタール程度栽培されています。粒ぞろいで甘味が強いのが特徴で、美容と健康に良いアルカリ性果実として、非常に人気があります。

撮影/久野吉彦(熊野町)



醸造業

The "Sake" Brewing Industry

市内には2軒の造り酒屋があります。知多半島の酒造りは約350年前に始まったと言われています。当時の主要交通であった海運を利用して江戸などに大量に運ばれるなど、かつては全国でも有数の生産地でした。



水稻

Rice Paddies

市の北部地域を中心に市内全域で600ヘクタール程度作付けされており、県内でも有数の米どころです。

水稻に適した土壌と土地改良事業により大区画化されたほ場、そして木曽川の水を生かして良質な米が栽培されています。

山車まつり

“Dashi” Float Festivals



知多半島は山車が多いことで有名な地域です。

常滑市内には19台の山車があり、毎年3月下旬～5月上旬は市内各地が熱気に包まれます。

常滑地区祭礼

Tokoname Local Festival

■開催時期：4月第2の土・日曜日

■見どころ：6台そろっての曳きまわし。2日間にわたって地区内の隅々まで回るため、巡行距離も非常に長く、見ごたえがあります。



しんめいくま
神明車(北条区)



せらくしゃ
世楽車(瀬木区)



とこいしくま
常石車(奥条区)



ときわしゃ
常磐車(市場区)



とこやまくま
常山車(山方区)



ほらくしゃ
保楽車(保示区)



ほうらいしゃ
浜條:蓬菜車



とうおうしゃ
奥條:東櫻車



ごへいしゃ
御幣車



やたしゃ
矢田車



多屋地区祭礼

Taya Festival

うすぎしゃ(海槇車)

■開催時期：4月初旬の土・日曜日

■見どころ：キャラクターをモチーフにした小型の山車「ミニ山車」も登場します。

大谷地区祭礼

Otani Festival

■開催時期：3月下旬または4月第1週の土・日曜日

■見どころ：寄り添うようにすき間なく並んだ山車、盛大にまかれるお清めの塩

矢田地区祭礼

Yata Festival

■開催時期：4月中旬の土・日曜日

■見どころ：区民によって作られた「御幣車」と「矢田車」の2台の山車



郷中:西賓車
さいほうしや



鉄砲津:雷神車
らいじんしや

西之口地区祭礼

Nishinokuchi Festival

- 開催時期：4月第3の土・日曜日
- 見どころ：西賓車のからくり人形は文字書き人形と呼ばれ、観客は人形がどんな文字を書くのか楽しみにしています。



小倉地区祭礼(小倉車)

Ogura Festival

- 開催時期：4月下旬の土・日曜日
- 見どころ：囃子に合わせて舵取り衆が山車を担ぎ、180度回転させ前後に激しく動かす「チャンチャンドケ」が見ものです。



坂井地区祭礼(松尾車)

Sakai Festival

- 開催時期：3月下旬または4月第1週の土・日曜日
- 見どころ：山車の上山に糸からくりの浄瑠璃人形があり、源義経、皆鶴姫、平広盛を主人公とした浄瑠璃が上演されます。



小鈴谷地区祭礼(白山車)

Kosugaya Festival

- 開催時期：4月第1週の土・日曜日
- 見どころ：山車の曳きまわしのほか糸からくり三番叟、獅子舞などが執り行われます。



紅葉車(橋詰町)
こうようしや



梅栄車(十王町)
ばいえいしや



唐子車(高須賀町)
からこしや



権丸(権現町)
ごんまる



大野地区祭礼

Ono Festival

- 開催時期：5月3・4日
- 見どころ：3日(宵神楽)は山車3台に加え、巻藁舟「権丸」の提灯が周り、風情ある姿が楽しめます。4日(本祭り)はからくり人形の上演

歳時記

Annual Calendar

3月～5月上旬 **春祭り**

山車まつり…

市内9地区、19台の山車が登場します。(16ページ参照)

矢田、小倉、大野、西之口、多屋、常滑、大谷、小鈴谷、坂井の各地区

その他の春祭り…

各地で獅子舞や巫女舞など、さまざまな祭りが行われます。

久米、前山、石瀬、宮山、蒲池、榎戸、樽水、西阿野、古場、松原、苅屋、広目の各地区

7月上旬～8月下旬 **海水浴**

(大野、りんくうビーチ、坂井)
家族で海水浴を楽しめます。

8月下旬 **常滑焼まつり**

常滑焼の大即売市(ポートレーズとこなめほか)、納涼花火大会も行われます。



3月 苅屋祭礼
Kariya Festival



4月 前山祭礼
Maeyama Festival



8月 常滑焼まつり
Tokoname Ceramic Festival



Spring

3月

4月

5月

Summer

6月

7月

8月



4月 榎戸祭礼
Enokido Festival



5月 柴舟権現まつり
Shibahune Gongen Festival



7月 虫送り
Mushiokuri



7月 天王まつり
Tenno Festival

3月上旬 **歩こまいとこなめ**

市内の見どころを巡る、歩け歩け大会。市外からも多くの参加があります。

4月上旬～8月上旬 **潮干狩り**

(大谷・小鈴谷・坂井海岸)

5月中旬 **柴舟権現まつり**

本能寺の変で三河への退路として三重から船で渡り常滑に上陸したといわれる、徳川家康公にちなんだお祭り(市場地区)

7月上旬 **虫送り**

火に集まる害虫を退治して豊作を願う行事(矢田地区)

7月中旬(第3日曜日) **天王まつり**

笹提灯がとまり、花火が打ち上げられます。(瀬木地区)

9月上旬 青峰山祭礼

豊漁と海の航行安全などを祈願する祭り。餅投げがあり、この日、漁船は大漁旗を飾ります。(11ページを参照)(蒲池・松仙寺)

11月中旬もしくは12月上旬

農業まつり

農産物品評会、即売市が行われます。(ボートレースとこなめ)



11月 or 12月 農業まつり
Agriculture Festival

1月上旬 出初式

一年の無火災・無災害を願います。



1月 出初式
New Year Firefighter's Event

1月下旬 干支供養感謝祭

旧年の干支置物を供養します。



1月 干支置物供養祭
Zodiac Ornament Festival

Autumn

9月

10月

11月

Winter

12月

1月

2月



10月 陶と灯の日
The Day of Light and Ceramics

10月10日

陶と灯の日

毎年、故伊奈長三郎氏の命日10月10日を「陶と灯の日」とし、イベントを開催しています。(INAXライブミュージアム ほか)



10月 尾張大野古今散策
In Owari Ono, all ages stroll

10月下旬

尾張大野古今散策

歴史散策ツアーやギャラリー展示など大野の町一帯で行われる催事(大野地区)



12月・1月 大野谷虫供養
Ono Tani Mushi Kuyou

12月15日～1月 大野谷虫供養

今から千年ほど前から始まったと言われ、農作物を守るために殺生した虫を供養します。(大野ほか各地区)



2月 酒蔵開放
Open Sake Tasting

2月下旬 酒蔵開放

昔ながらの、丁寧に丹念な方法で造る酒造工程を一般に開放します。

子育て

Child Raising



子どもは未来への希望です。そんな次世代を担う子どもたちを安心して育てることができるよう、育児相談や子育て中の家族同士への交流の場を提供しています。

また、子どもたちがのびのびと育つように保育園の環境を充実させ、放課後も子どもたちが安心して過ごせる場所を提供するなど、皆さんに安心して子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。



子育て支援フェスタ



子育て総合支援センター

Child Raising Support Center

毎年「子育て支援フェスタ」が開催され、多くの親子連れでにぎわいます。

とこ♡はあとルームは、育児相談や子育て中の家族同士の交流の場として利用されています。

児童育成クラブ

Child Development Club

市内児童館など放課後も子どもたちが安心して過ごせる場所を提供しています。



三和児童館



育成クラブ

市内の保育施設では、それぞれの地域の特色を生かし、
季節を感じることができる行事を取り入れ、豊かな心をはぐくむ保育をしています。



3月

樽水環境保全会が保全管理をしている
菜の花畑に遠足
花の香りに囲まれていい気持ち。

地元農家の協力を得てスイカの収穫に挑戦
重いから、ともだちと協力して。

8月



10月

JAあいち知多所有の畑で芋掘りを体験
食べきれないほどのサツマイモがとれました。

12月

1月

幼・保育園では、餅つきや初詣をし、
新年を迎えます。



コラム de とこなめ ⑥ Tokoname's Column

英語であいさつ

Greetings in English

市では、公立のこども園のほか、私立のこども園や保育園が増えています。
SAKAI保育園では、日常会話を英語で行うなど、特色ある保育が行われています。





NPO法人あかりが運営するデイサービス

お年寄りが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、地域ぐるみでお年寄りを見守る支援体制の整備を進めています。お年寄りの運動機能を向上するための教室や認知症予防教室を開催するなど、皆さんが生涯を通じて元気に暮らせるように支えていきます。また、障がいのある人が自立して社会に参加していくために、就労に関する支援も行っています。さらに、障がいに関する相談支援を強化するなど、障がいのある人が安心して日常生活を送れるようにサポートしていきます。



「シルバーこめめ隊」による買い物支援サービス

(社)常滑市シルバー人材センター

Tokoname "Silver" Human Resource Center

おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者に、長年の経験を生かせる仕事を企業・家庭・公共団体から引き受け、高齢者の社会参加と生きがいや健康増進を目的とした事業を実施しています。



ワークセンターかじま



ヘルプカード

市では、障がい者が健常者とともに自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援しています。相談支援事業所や地域活動支援センターがサポートします。

また、障がいのある人が携帯し、災害時や日常生活の中で困ったときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカード「ヘルプカード」を配布しています。

広告

ガラスの割替え・網戸の張り替え
玄関・窓のメンテナンス などなど
お悩み、お気軽にお電話ください！
～下見＆お見積りは無料です～



(有) 知多硝子建材

本店 ☎(0569) 73-0201
知多郡武豊町富貴簗田 73-1

常滑店

☎(0569) 84-3434
常滑市飛香台 2 丁目 14-13



☎(0569)37-0733
※水曜休館



盛田株式会社

本社 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 7 番 34 号 ☎(052)229-1600
工場 〒479-0807 愛知県常滑市小鈴谷字亀井戸 21-1 ☎(0569)37-0511





ピンシヤンお元気教室



離乳食講習会



パパママセミナー

市では、市民が健康でいきいきと暮らせるためのさまざまな事業を行っています。

赤ちゃん訪問、乳幼児健診、特定健診、高齢者健診に加え、各種がん検診などの案内をしています。

また、保健指導や健康増進事業、介護予防事業を行い、市民の意識向上に努めています。

保健センター

Health Center

保健センターは、市民の健康づくりや子育てを支援する施設です。

平成27年5月から新市民病院と合築され、乳幼児健診、各種がん検診や介護予防教室などの充実を図り、より一層市民の皆さんの身近な施設となるように努めます。

健康づくりのお手伝い

Get Healthy Activities

市民の皆さんの健康づくりに役立つ「ピンシヤンお元気教室」、子育てを応援する「離乳食講習会」や「パパママセミナー」などを企画。多くの皆さんに参加いただいています。

コラム de とこなめ 7 Tokoname's Column

健康情報誌「常滑健康なう」を発行

Health information magazine "Let's Be Healthy Tokoname"

市民の皆さんが生涯を通じて健康でいきいきと過ごし、さらなる健康寿命の延伸を目指して、健康に関するさまざまなお役立ち情報を提供しています。ぜひご覧ください。



広告

地中埋設ケーブル保護管

杉江の多孔陶管
セラダクト A シリーズ



杉江製陶株式会社

常滑市多屋町5-8

TEL 0569-35-2360 FAX 0569-35-4087



毎日飲んで 毎日健康

常滑牛乳

〒479-0001 愛知県常滑市矢田野中 123

TEL <0569> 42-0731 FAX <0569> 43-8485

まちづくり

Town Planning

公園

Public Parks

市内には、四季折々の自然を感じられる、大小さまざまな公園があります。それぞれが個性豊かな特徴を持ち、老若男女の憩いの場として利用され、市民の大切な交流の場となっています。



大曽公園

Oso Park

ナイター設備のある野球場、テニスコート、温水プールなど各種スポーツ施設がある運動公園です。

小脇公園

Kowaki Park

芝生広場やバーベキューハウスがあり、イチジクやサツマイモの収穫体験なども楽しめる農業体験型公園です。



みたけ公園

Mitake Park

春には桜の名所として知られ、展望台からはセントレアを眼下に望むことができます。



城山公園

Shiroyama Park

大野城址とされる場所に造られた公園です。伊勢湾を一望できる城の形をした展望台や、遊具、多目的広場があります。



前山ダム公園

Maeyama Dam Park

前山ダム(池)を取り囲むように、散策路やせせらぎ水路などが整備された親水公園で、バーベキューやジョギングに最適です。



桧原公園

Hibara Park

緑豊かな森林の中に造られた散策路は、四季折々の花や野鳥のさえずりを楽しむことができます。東広場には、遊具が整備され、多くの家族連れに利用されています。



常滑公園

Tokoname Park

伊勢湾を望む小高い丘の上に位置し、体育館を中心としたスポーツゾーンと迫力あるオブジェが設置されたカルチャーゾーンからなります。



高砂山農村公園

Takasagoyama Park

里山林整備事業(農林水産省)により、遊歩道や展望作業小屋が整備された公園。公園散策のほか、夜景などを楽しむために訪れる人が増えています。

住宅地

Residential Areas

市では、立地・自然条件を生かした優良な住宅地を提供するため、各区画整理組合や(独)都市再生機構とともに、区画整理事業を積極的に展開しています。また、煙突などに象徴される常滑独特の景観にも配慮した特色あるまちづくりを進めています。



飛香台

Asukadai

市中央部の丘陵地に位置し、セントレアラインのインターチェンジに隣接する緑豊かな住宅地です。区域内にスーパーマーケットや消防本部などの施設があります。



北汐見坂

Kita Shiomizaka

伊勢湾を望む緩やかな高台に位置する住宅地でオーシャンビューを楽しめます。良好な街づくりを行うため「街づくり憲章」を制定しています。



虹の丘

Nijinooka

中心市街地や空港に近く、区域内に保育園や大型ショッピングモール、近隣に小・中・高校がある住宅地です。神社や公園もあり、多屋区民のコミュニティ空間となっています。



かじま台

Kajimadai

彫刻作品や巨大モニュメントの設置、住宅メーカーとの連携、ホームページを活用した販売戦略、街づくり憲章の制定など、独自の魅力ある区画整理事業の先駆けとなった街です。



朝陽ヶ丘

Asahigaoka

市南部に位置した緑に囲まれた閑静な住宅地です。区域内に保育園、小学校があり、子育て環境も充実しています。海も近く豊かな自然の中で生活することができます。

コラム de とこなめ 8 Tokoname's Column

まち並み保存

Preserving the City's Historical Landscape

市内には約90基のレンガ煙突が今なお残っており、独特の風情ある景観を形成しています。この貴重な景観を保存するため、景観計画を策定しています。



環境への取り組み

Commitment to the Environment

ごみ減量に取り組んでいます

Working on Waste Reduction

市ではごみの減量化・資源化を目的に平成24年10月から家庭ごみの有料化を導入しています。現在では、市民団体と協働して、キャンペーンを行ったり、小学生にごみ減量授業を実施するなど、ごみの減量に向け、一丸となって取り組んでいます。



常滑市ごみ減量スローガン 「4R とこなめ 530」

4R Tokoname 530

「今から、今日から、これから、私たちができることから始めよう。」



4Rとこまる

4R "Tokomaru" Garbage Campaign

常滑市ごみ減量推進のシンボルマークです。

家庭ごみの排出量を1人1日当たり530グラムに減量するという目標を達成しようと、平成24年5月に愛称を決定しました。さまざまなキャンペーン活動、啓発活動の場でごみ減量をPRしています。



さん SUNてらす常滑

Tokoname's Sun Terrace



新エネルギー

New Energy

市内には、りんくうビーチ南広場の小型風力発電機に加え、太陽光発電所であるメガソーラーが稼働しています。

常滑浄化センター

Tokoname Purification Center



下水道

Sewage System

家庭や工場から流れた汚水は「常滑浄化センター」に集められ、きれいな水に処理して海に放流されています。浄化された水の一部は、りんくう町の緑地の散水などに利用されています。

広告

自由設計リフォーム
Refine
リファイン

●リファインは、パナソニックの登録商標です。●リファインショップは、独立・自営の会社が運営しています。●工事請負契約は、お客様とリファインショップ運営会社との間で行われます。

自由設計リフォーム
Refine とこなめ
■株式会社藤井組
常滑市仲井20-3番地
TEL (0569) 35-7333 TEL: (0569) 34-8966 (代)
FAX: (0569) 34-8977

建設業許可/愛知県知事(特-24)第43188号
一級建築士事務所登録/愛知県知事(イ)第1626号

総合建設 設計・施工

株式会社 藤井組

TEL (0569) 34-8966 (代)
FAX (0569) 34-8977

誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24 時間体制

有限会社

大阪屋葬祭

常滑ホール・鬼崎ホール・阿久比ホール
http://www.osakaya-sousai.jp

☎0569-35-4949 (代表)
FAX 35-4911

ボートレースとこなめ

Tokoname Boat Race



水上の格闘技と言われる「ボートレース」。スピード感あふれるレースを楽しく観戦することができます。ボートレースの醍醐味は、各コーナーでのターン技術。特に最初の1周目が勝負のポイントになるので1マークの水面際は観戦ポイントにおすすめです。

場内には、ロイヤル席やレディース・カップル席も配置。初心者の女性を対象にした「レディースBOAT RACEセミナー」も好評で、若者や女性ファンも増えています。



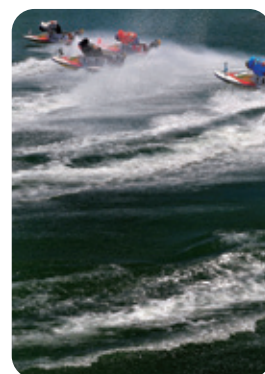
ロイヤル席



レディース・
カップル席



レディースBOAT RACEセミナー



ウィンボとこなめ、オラセントレアでも熱戦をご覧ください



ウィンボとこなめ

Wimbo Tokoname

ボートレースとこなめの南に位置する外向発売所です。朝からナイター終了まで毎日開催し、ボートレースファンでにぎわいます。



オラセントレア

Orale Centrair

空港に公営競技全国初となる場外舟券発売場です。ボートレースにちなんだ6色の招き猫がお出迎えします。